

第 1 章：本町の現況

第 1 節：社会的現況

第 2 節：公共交通の現況

第 1 節：社会的現況

1. 本町の位置及び地勢

1) 位置と沿革

本町は、高知県西北、愛媛県との県境に位置している。県庁所在地である高知市からは直線距離で約 60 k m となっている。

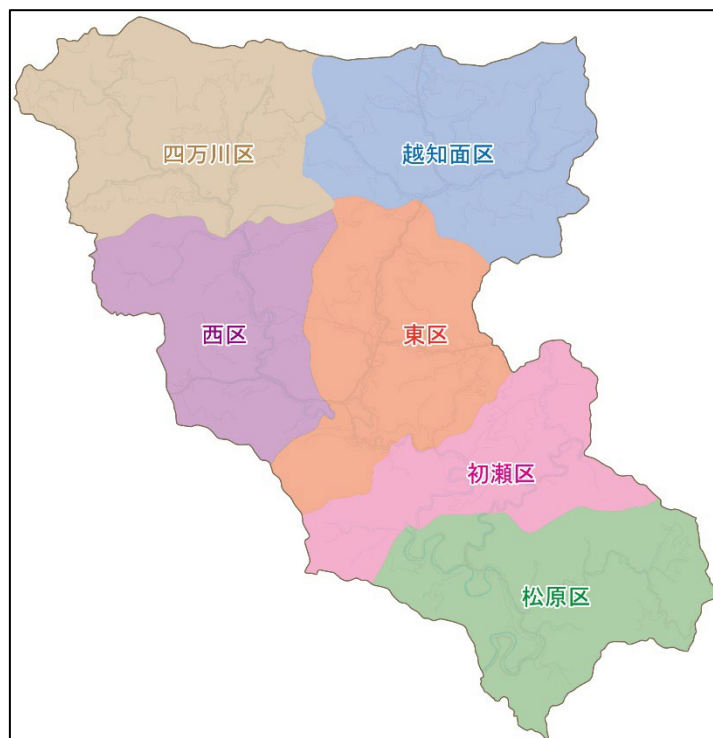
図：本町の位置



明治 22 年 (1889 年) に当時の梶原、越知面、四万川、初瀬、中平、松原の 6 ヶ村を「西津野村」と改称し、昭和 41 年 (1966 年) に町制を施行した。

現在も当時の旧村域別に各区に分かれている。

図：現在の区



2) 地勢と気候

本町は、ほぼ全域が山間部となっており、総面積の 91%を森林が占めている。
町北部は四国カルストが広がっており、高いところで 1455mの標高となっている。

図：本町の地形



本町は、県内で最も降雪量の多い地域のひとつであり、町中央部では平均 0.3～0.6m、北部山岳地区では 1.0m～1.5mの積雪となっている。

過去には大災害級の積雪（11m14 c m昭和 38 年 1 月：井高上組地区）を記録したこともある。

写真：令和 3 年 1 月の積雪の様子 [左：梶原町役場、右：四万川地区（北部地区）]

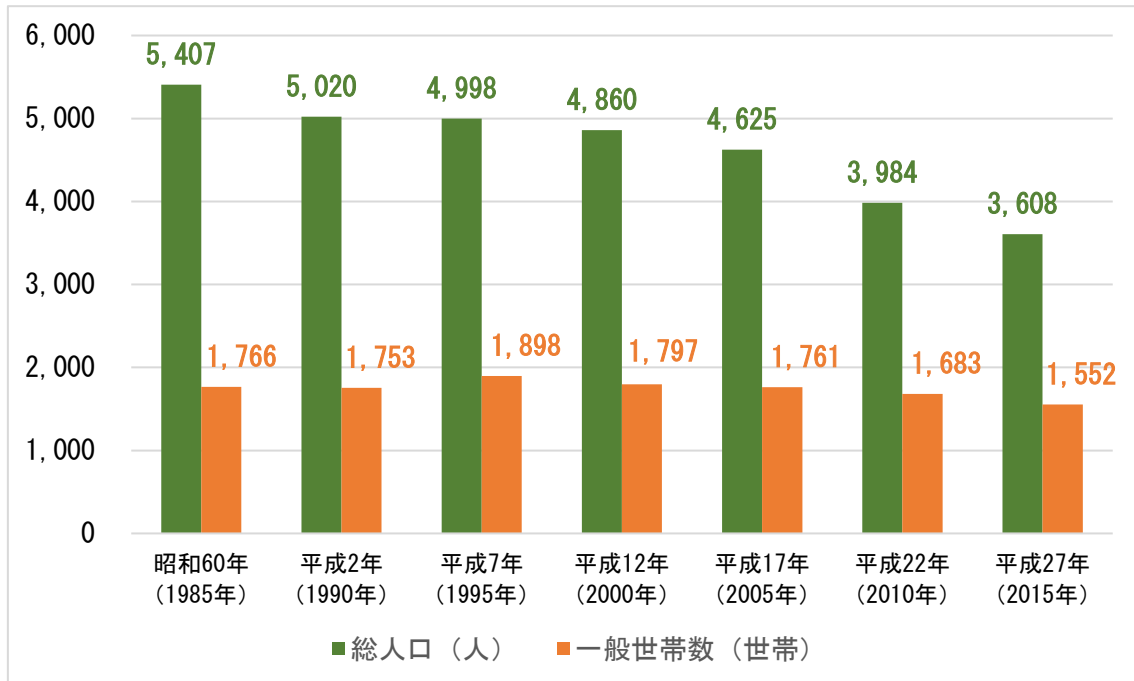


2. 人口及び世帯数

1) 人口と世帯数の推移

本町の人口は減少傾向にある。

図：人口の推移



出典：国勢調査結果

表：人口と世帯数の推移

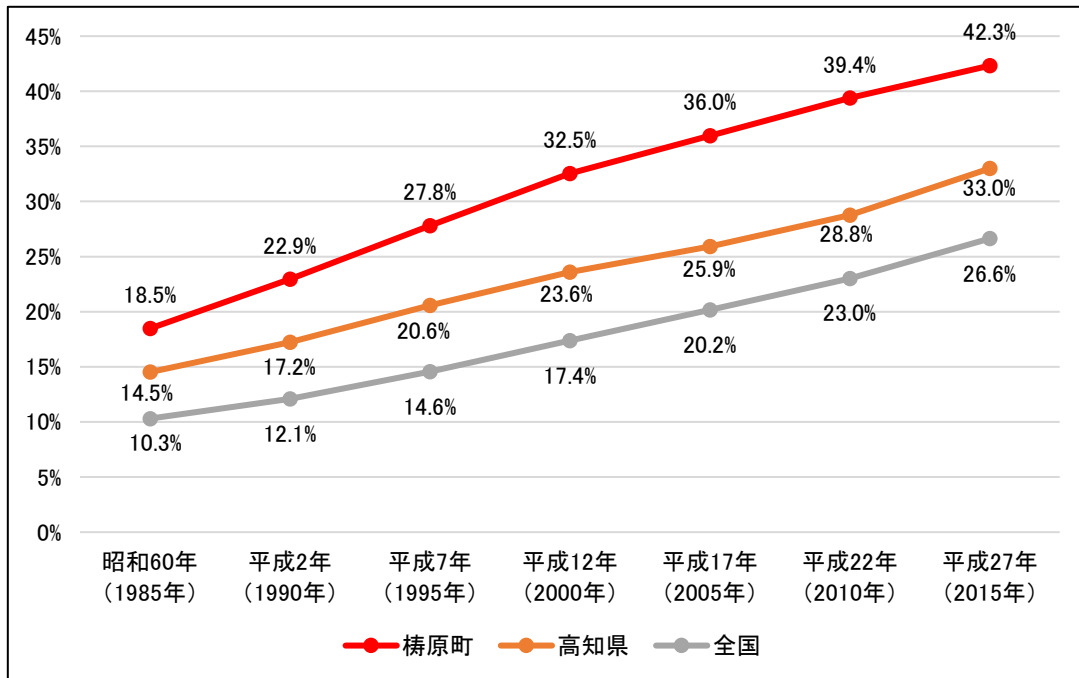
	昭和 60 年 (1985 年)	平成 2 年 (1990 年)	平成 7 年 (1995 年)	平成 12 年 (2000 年)	平成 17 年 (2005 年)	平成 22 年 (2010 年)	平成 27 年 (2015 年)
総人口 (人)	5,407	5,020	4,998	4,860	4,625	3,984	3,608
一般世帯数 (世帯)	1,766	1,753	1,898	1,797	1,761	1,683	1,552
世帯当人員 (人)	2.96	2.77	2.54	2.52	2.44	2.35	2.25

出典：国勢調査結果

2) 高齢化率

本町の高齢化率は、平成27年で42.3%となっており、県平均(33.0%)、全国平均(26.6%)を大きく上回っている。

図：高齢化率の推移



出典：国勢調査結果

表：人口と高齢化率の推移

	昭和 60 年 (1985 年)	平成 2 年 (1990 年)	平成 7 年 (1995 年)	平成 12 年 (2000 年)	平成 17 年 (2005 年)	平成 22 年 (2010 年)	平成 27 年 (2015 年)
総人口 (人)	5,407	5,020	4,998	4,860	4,625	3,984	3,608
65 歳以上 (人)	999	1,152	1,389	1,581	1,664	1,569	1,527
高齢化率 (%)	18.5%	22.9%	27.8%	32.5%	36.0%	39.4%	42.3%

出典：国勢調査結果

3) 昼夜間人口比率

本町の昼夜間人口比率は、平成 27 年で昼間がプラス 7 人となっている。

表：常住人口と昼間人口

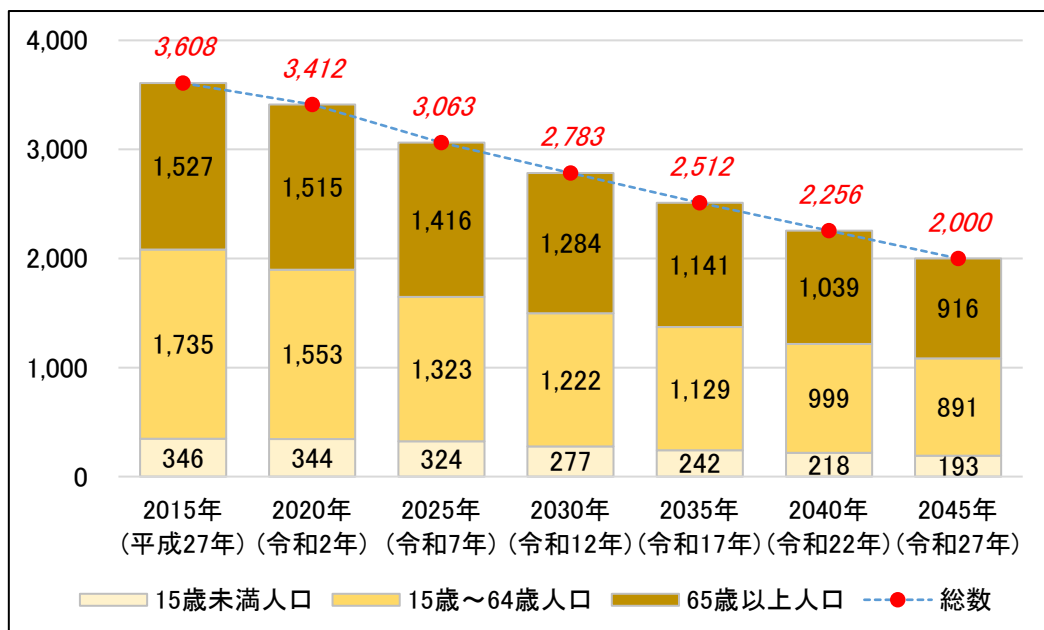
常住人口 (夜間人口)	昼間人口	昼夜間人口差	昼夜間人口比率
3,608 人	3,615 人	+ 7 人	100.194 %

出典：平成 27 年国勢調査結果

4) 人口の将来推計

本町の将来推計人口は、24 年後の 2045 年で 2,000 人と予測されている。

図：年齢区分別将来人口の推移

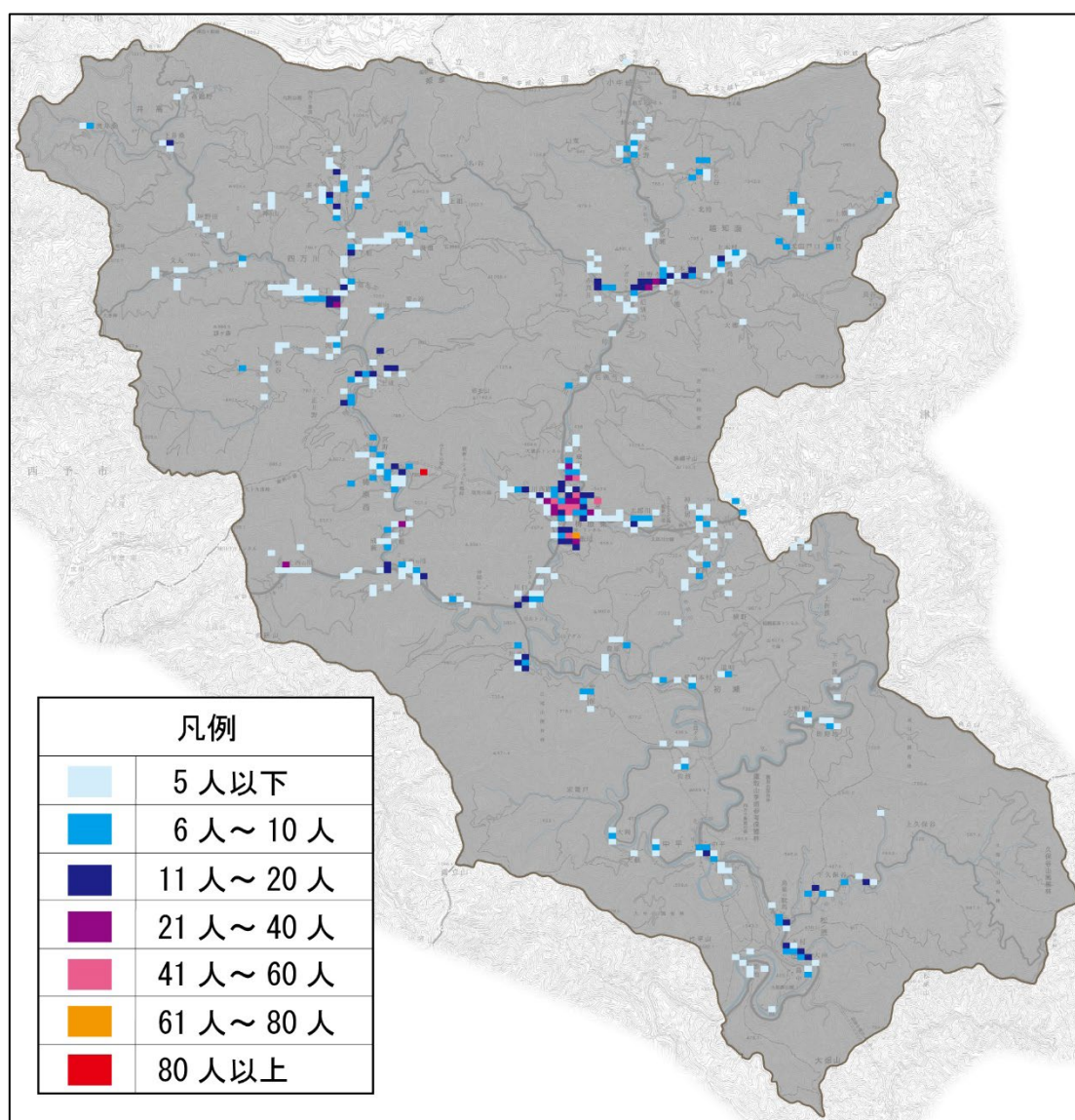


出典：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

5) 地区別人口分布

本町の人口分布は、平成 27 年時点で次の図のとおりである。梶原中心部に人口が集中しているほか、四万川地区、越知面地区、西区などにわずかながら人口が集中しているところが見られる。

図：本町の人口分布 [125mメッシュで表示]



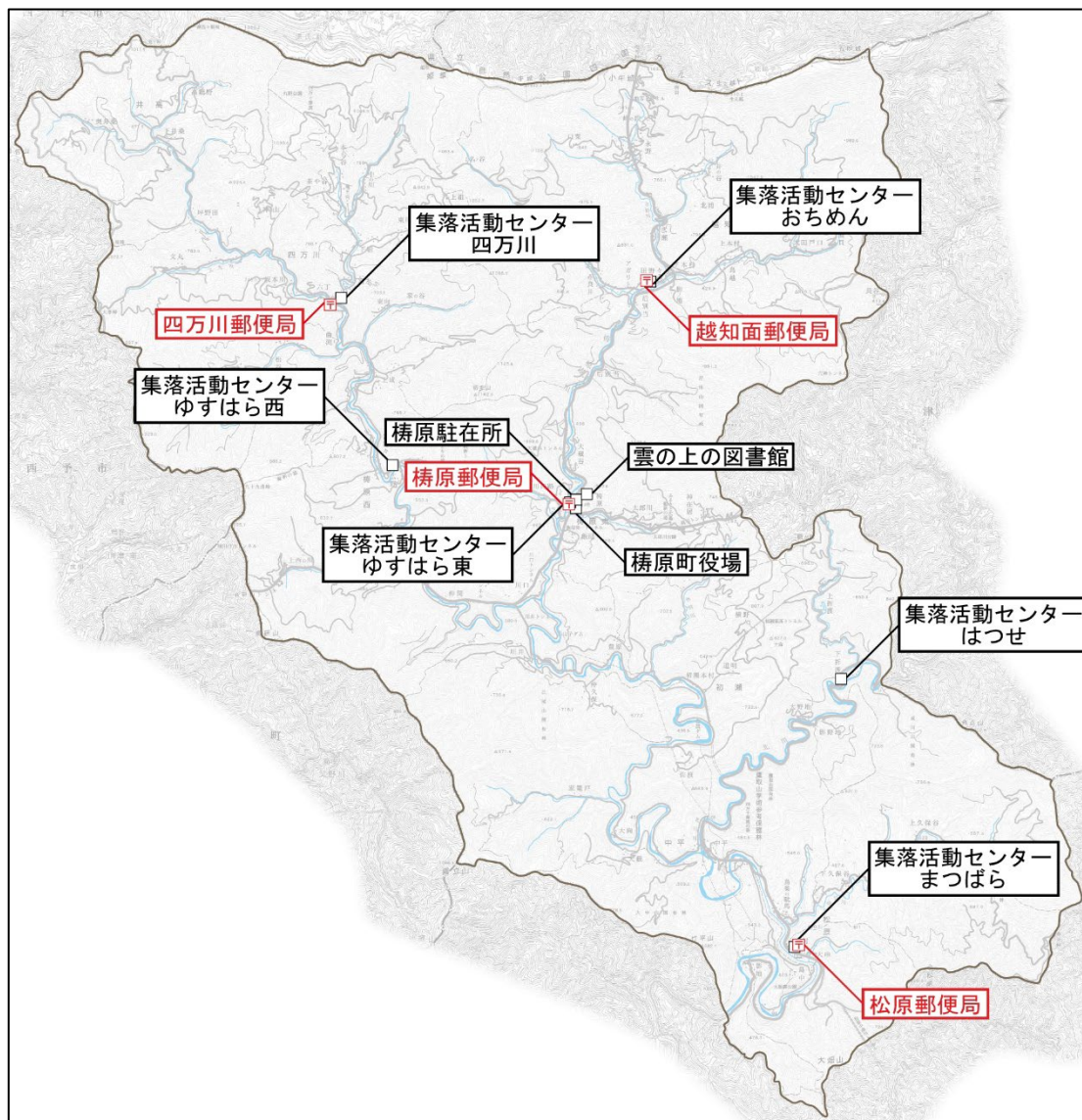
出典：平成 27 年国勢調査結果

3. 本町の主要施設分布

1) 公共施設等

本町では、各区に集落活動センターを設置しており、それぞれの地区のニーズを反映した運営が行われている。

図：公共施設等の分布



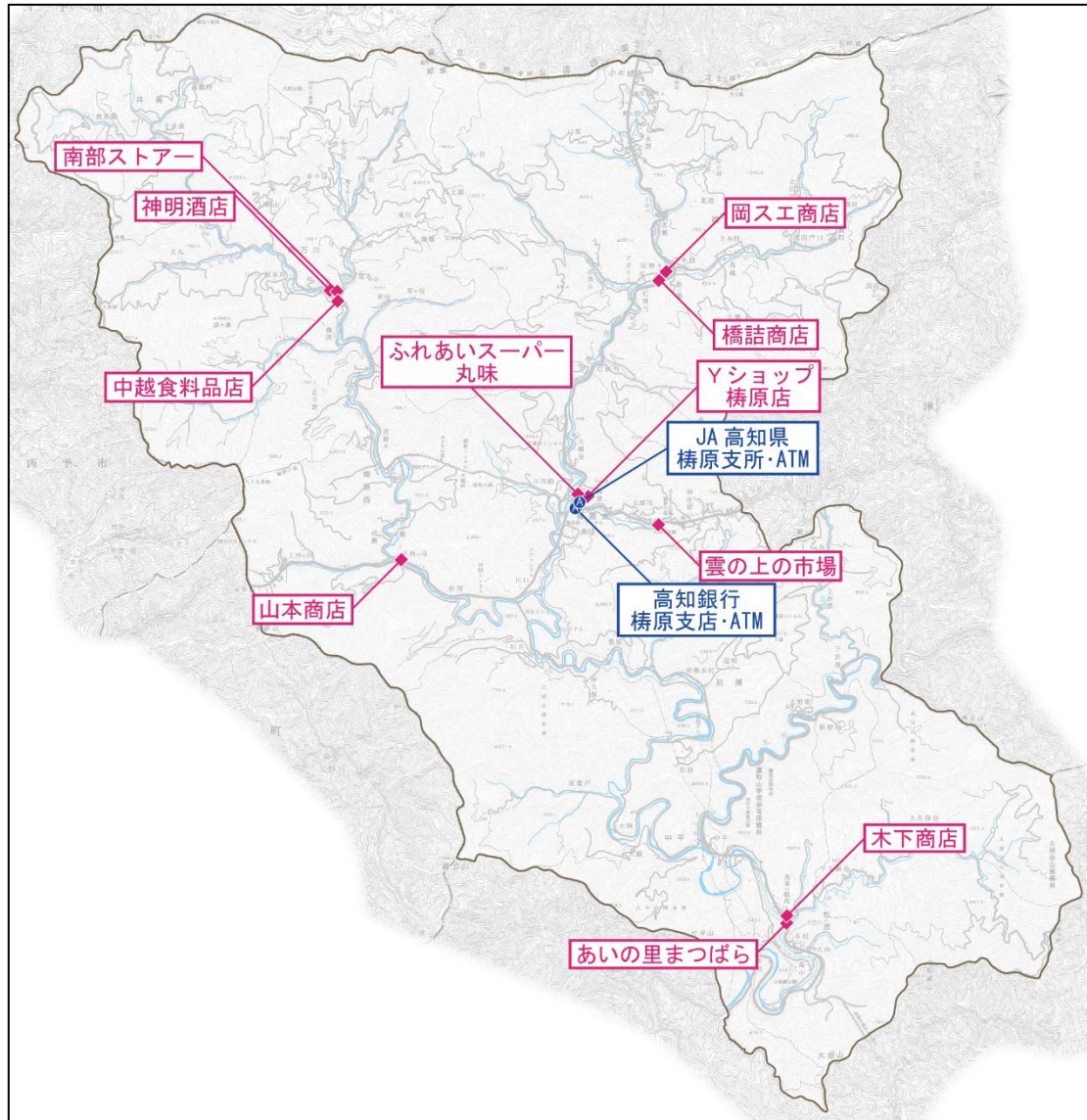
写真：集落活動センター（左：松原地区、右：四万川地区）



2) 商業施設

中心部に立地するふれあいスーパー丸味が最も規模が大きい商業施設となっており、移動販売ととくし丸の運営にも関わっている。本町内には、とくし丸以外にも規模の小さい移動販売が定期的に営業を行っている。

図：主な商業施設の分布



出典：タウンページ高知県版より、スーパー、食料品店、コンビニエンスストアを抽出
また、地区別ヒアリングの結果を反映

写真：商業の様子（左：ふれあいスーパー丸味、右：松原地区での移動販売）

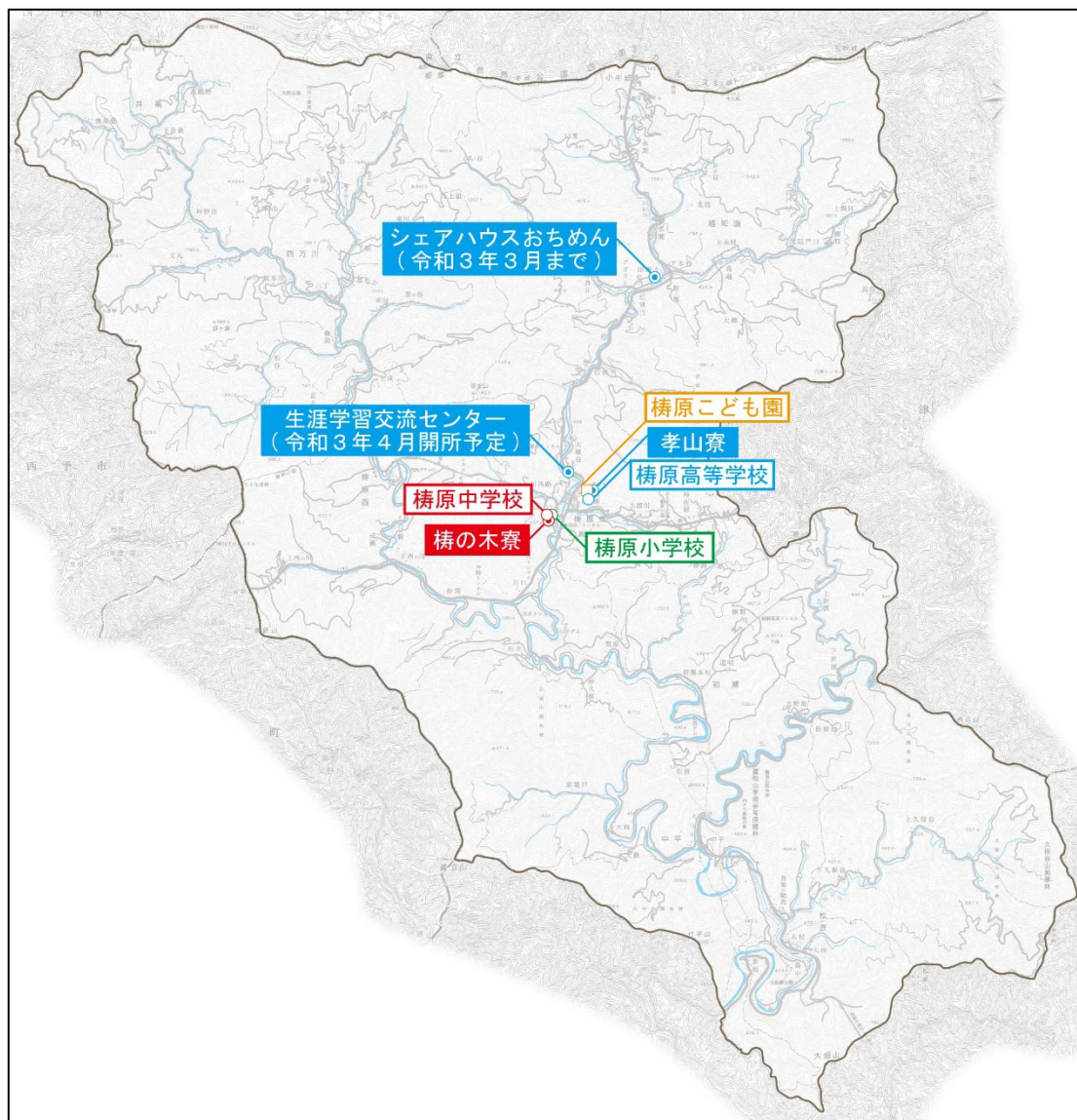


3) 学校施設・保育所

本町の学校施設及び保育所施設は中心部に集まっている。

栲原こども園は幼保連携型の認定こども園の指定を受けており、栲原小学校と栲原中学校は施設一体型の小中一貫校（栲原学園）として、それぞれ機能している。

図：学校施設・保育所の分布



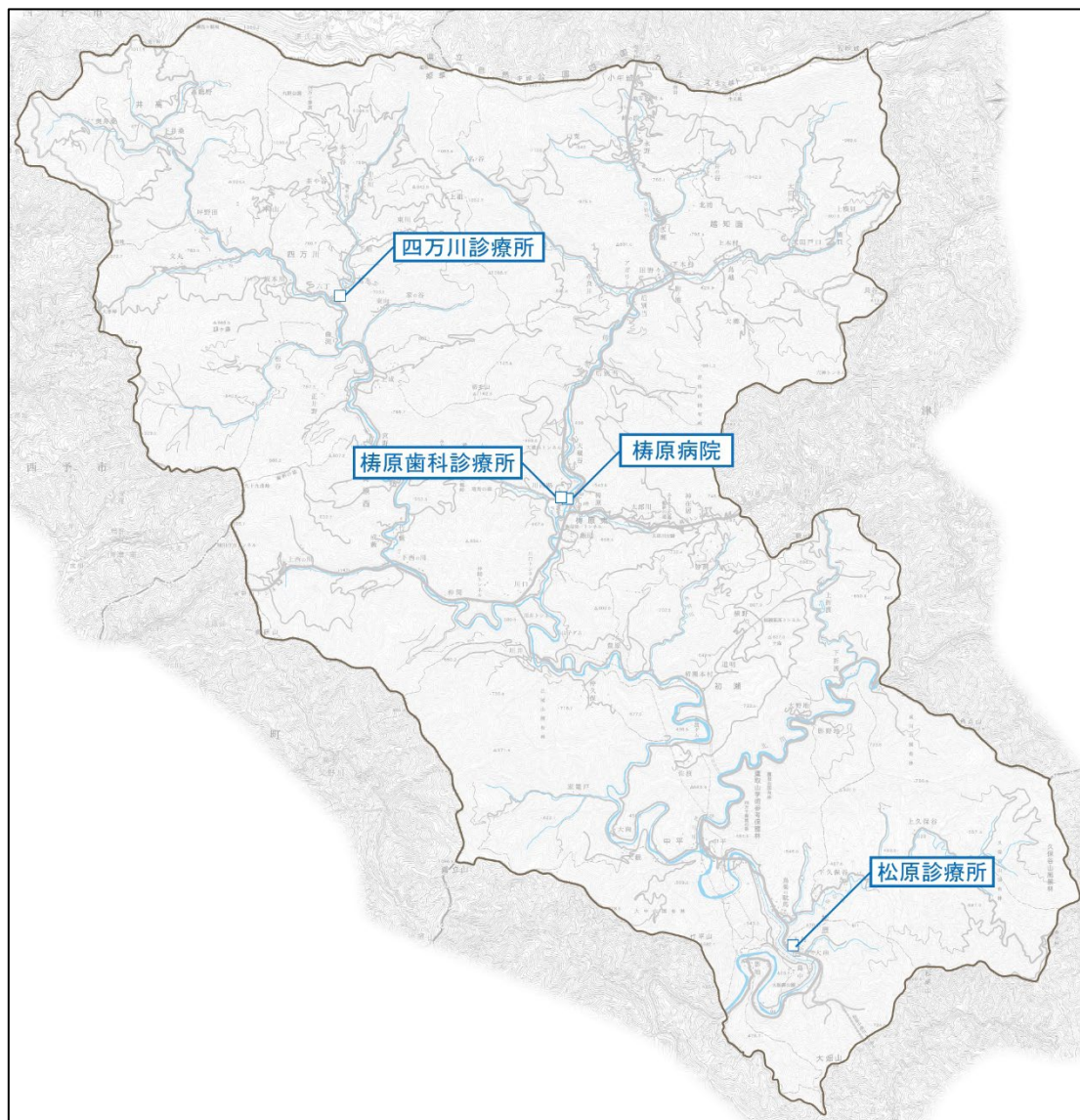
写真：学校の様子（左：栲原こども園、右：栲原学園）



4) 病院・診療所

本町中心部に栲原病院と歯科診療所が立地し、松原地区と四万川地区にそれぞれ診療所が立地している。

図：病院・診療所の分布



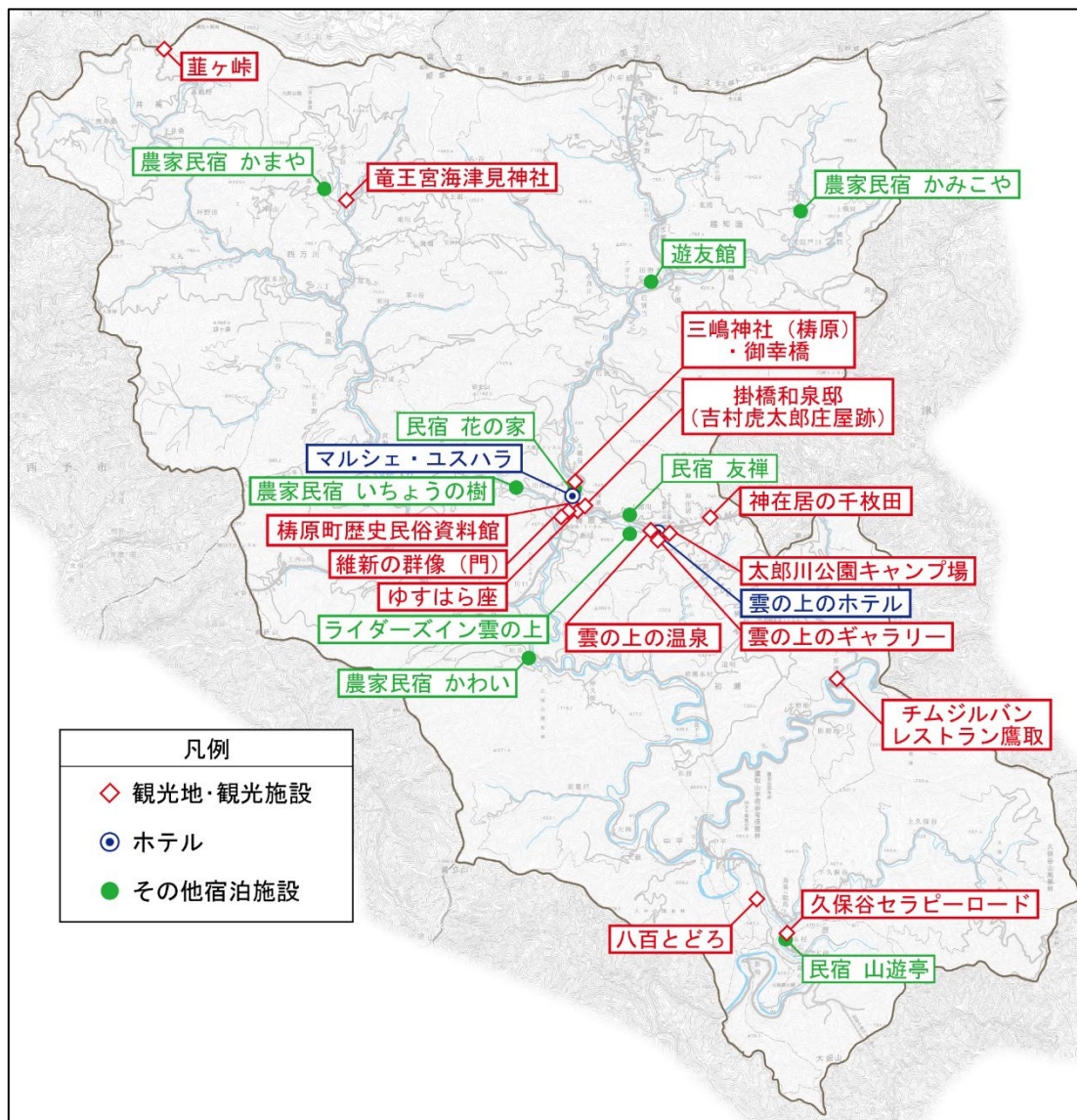
写真：栲原病院



5) 観光関連施設

本町中心部及び太郎川地区に観光施設や宿泊施設が集まっている。

図：観光施設の分布



写真：町内のホテル（左：雲の上のホテル、右：マルシェ・ユスハラ）



近年は、建築家隈研吾氏が設計を手がけた建築群が注目されている。

表：町内の観光施設等利用状況

	平成 27 年 (2015 年)	平成 28 年 (2016 年)	平成 29 年 (2017 年)
梶原町歴史民俗資料館 梶原千百年物語り	4,136 人	4,582 人	6,295 人
雲の上の温泉	60,727 人	54,819 人	61,843 人

出典：高知県庁ホームページ「県外観光客入込・動態調査報告書」

写真：ゆすはら座



写真：雲の上の図書館（隈研吾氏の設計）



4. 通学及び通勤流動

平成 27 年の国勢調査より、通学及び通勤による流動は流入が流出を 7 人上回っている。個別に自治体とのつながりを見てみると、隣接する津野町との結びつきが強いことがわかる。

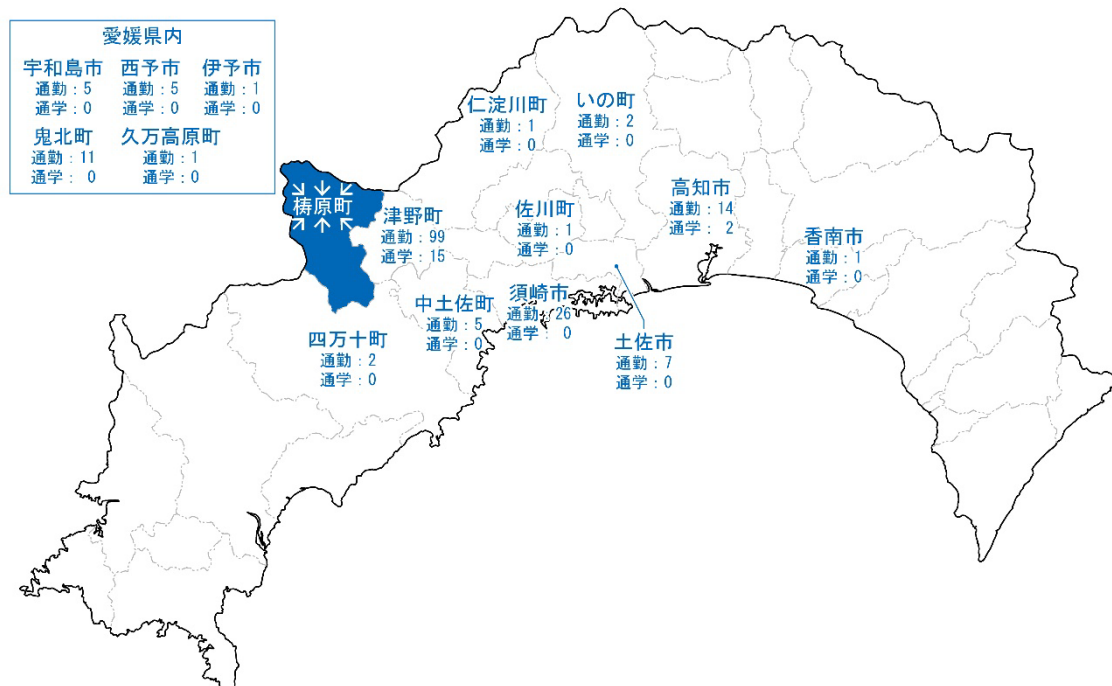
また、愛媛県方面との結びつきがあることも見てとれる。

表：本町を中心とする通勤・通学流動（平成 27 年 単位：人）

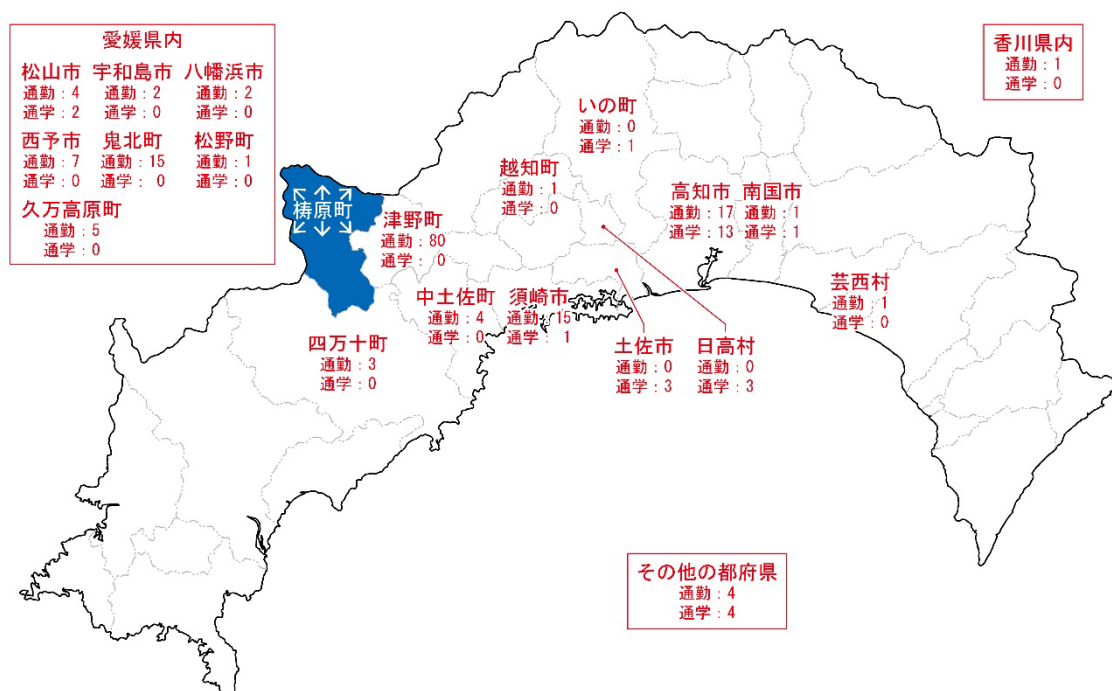
	流入			流出		
	総計	通勤	通学	総計	通勤	通学
高知市	16	14	2	30	17	13
南国市	0	－	－	2	1	1
土佐市	7	7	－	3	－	3
須崎市	26	26	－	16	15	1
香南市	1	1	－	0	－	－
芸西村	0	－	－	1	1	－
いの町	2	2	－	1	－	1
仁淀川町	1	1	－	0	－	－
中土佐町	5	5	－	4	4	－
佐川町	1	1	－	0	－	－
越知町	0	－	－	1	1	－
日高村	0	－	－	3	－	3
津野町	114	99	15	80	80	－
四万十町	2	2	－	3	3	－
松山市	0	－	－	6	4	2
宇和島市	5	5	－	2	2	－
八幡浜市	0	－	－	2	2	－
伊予市	1	1	－	0	－	－
西予市	5	5	－	7	7	－
久万高原町	1	1	－	5	5	－
松野町	0	－	－	1	1	－
鬼北町	11	11	－	15	15	－
愛媛県除く他県	0	－	－	9	5	4
合計	198	181	17	191	163	28

出典：平成 27 年国勢調査結果

図：本町への通勤・通学流入



図：本町からの通勤・通学流出



5. 消費動向

消費区分別に地元購買率を見てみると、最寄品が 59.1%、買回品が 4.9%、中間品が 10.0%、生鮮食品が 73.0%となっている。

消費の流出先を見てみると、買回品や中間品では高知市の量販店や須崎市のドラッグストア、宇和島市周辺の量販店等に流出している。最寄品や生鮮食品でも愛媛県宇和島市周辺の量販店に流出していることがわかる。

表：本町民の区分別購入の概要

購入する自治体	区分	量販店	ドラッグストア	大型の専門店	商店	直売店	その他	地元購買率
梶原町内	最寄品	32.3%	－	－	20.1%	－	6.7%	59.1%
	買回品	－	－	－	4.1%	－	0.8%	4.9%
	中間品	0.8%	－	－	7.5%	－	1.7%	10.0%
	生鮮食品	41.2%	－	－	22.4%	－	9.4%	73.0%
高知市	最寄品	2.4%	0.6%	－	－	－	－	
	買回品	27.9%	－	4.1%	0.8%	－	0.8%	
	中間品	16.7%	1.7%	1.7%	－	－	－	
	生鮮食品	－	－	－	－	－	－	
須崎市	最寄品	6.7%	5.5%	0.6%	－	－	－	
	買回品	3.3%	－	3.3%	－	－	3.3%	
	中間品	7.5%	11.7%	4.2%	0.8%	－	0.8%	
	生鮮食品	4.7%	－	－	－	－	－	
津野町	最寄品	0.6%	－	－	0.6%	－	－	
	買回品	－	－	－	－	－	－	
	中間品	－	－	－	－	－	－	
	生鮮食品	1.2%	－	－	1.2%	－	－	
愛媛県 宇和島市 周辺	最寄品	9.8%	3.7%	－	0.6%	－	0.6%	
	買回品	9.8%	0.8%	1.6%	0.8%	－	1.6%	
	中間品	6.7%	9.2%	1.7%	1.7%	－	3.3%	
	生鮮食品	10.6%	－	－	1.2%	－	－	

平成 28 年度 県民消費動向調査（高知県）

表の見方

- ・最寄品：生鮮食品、一般食料品、日用雑貨・台所用品の買い物先支持率の平均値
 - ・買回品：紳士服、婦人服、くつ・カバンの買い物先支持率の平均値
 - ・中間品：医薬品・化粧品、書籍・文具、シャツ・下着類の買い物先支持率の平均値
 - ・生鮮食品：肉、魚、青果の買い物先支持率の平均値
- ※ 最寄品、買回品、中間品、生鮮食品の区分毎に、1 位の購入先を ■、2 位の購入先を ■ で表示、3 位の購入先を ■ で表示

6. 交通安全に関する現況

1) 交通事故の発生状況

本町における交通事故の発生状況は次のとおりである。

年によってばらつきはあるものの、被害者側も含め高齢者が関わる割合は高くなっている。

表：本町内における人身事故の発生状況

	平成 28 年		平成 29 年		平成 30 年		令和元年		令和 2 年	
		うち、 高齢者		うち、 高齢者		うち、 高齢者		うち、 高齢者		うち、 高齢者
件数	4	2	0	0	0	0	5	5	3	1
死亡	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0
負傷	4	1	0	0	0	0	4	2	3	0

出典：須崎警察署

2) 自動車運転免許証の返納

本町における自動車運転免許証返納の状況は次のとおりである。

運転免許証を返納する全ての人が、運転経歴証明書の交付を申請しているわけではないことがわかる。

表：本町内における自動車運転免許証の返納状況

	平成 28 年		平成 29 年		平成 30 年		令和元年		令和 2 年	
		うち、 経歴証 明書		うち、 経歴証 明書		うち、 経歴証 明書		うち、 経歴証 明書		うち、 経歴証 明書
69 歳 未満	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—
70～ 79 歳	1	1	5	5	4	4	2	2	2	1
80 歳 以上	3	3	8	5	5	5	6	4	3	3
計	4	4	13	10	9	9	8	6	5	4

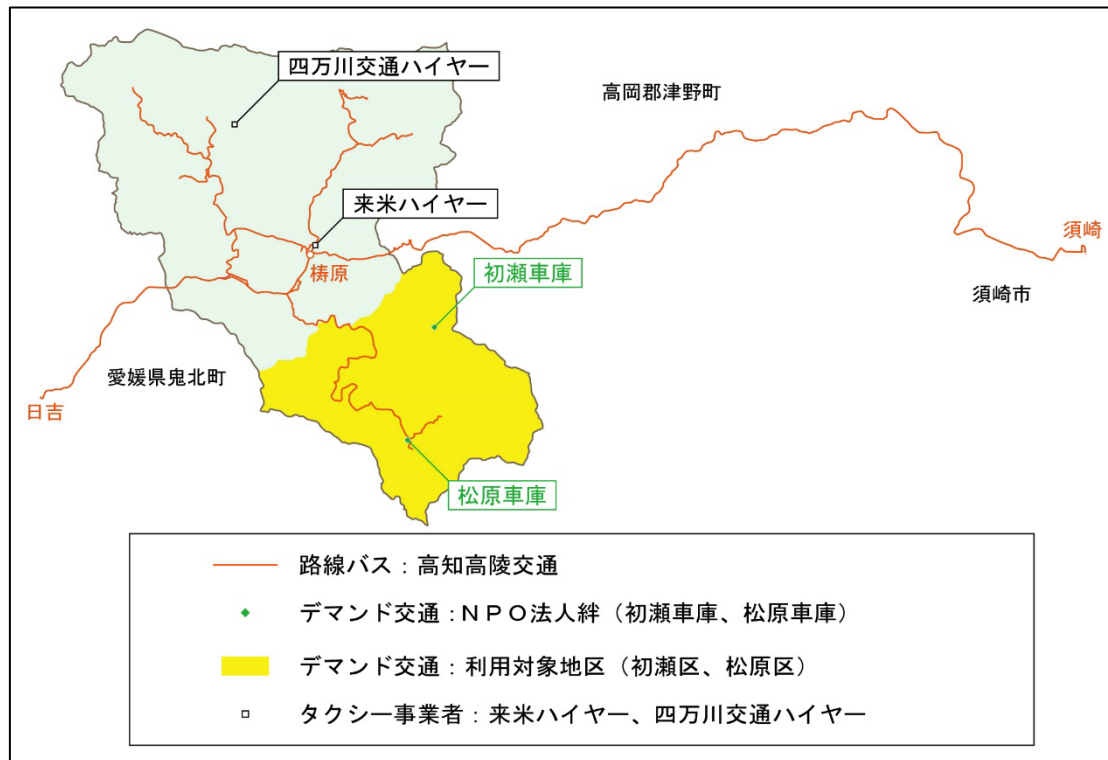
出典：須崎警察署

第2節：公共交通の現況

1. 本町の公共交通網

本町の公共交通として、高知高陵交通株式会社（以降：高知高陵交通）の路線バス、地元の特設非営利活動法人絆（以降：NPO法人絆）によるデマンド交通（自家用有償運送）の他、2者のタクシー事業者が事業を行っている。

図：本町の公共交通網



モード	運行事業者（主体）	備考
路線バス	高知高陵交通	須崎方面、日吉方面の他、町内の各方面への路線を運行
デマンド交通	NPO法人絆	初瀬区、松原区にて、自家用有償運送によるデマンド交通を運行
タクシー	来米ハイヤー	橋原中心部にて営業
	四万川交通ハイヤー	四万川区にて営業

2. 本町のモード別公共交通

1) 路線バス〔高知高陵交通〕

(1) 広域路線〔町外をつなぐ路線バス〕

高知高陵交通が運行する路線バスの内、町外をつなぐ路線として、国道 197 号を須崎市方面に結ぶ「桺原－杉の川－須崎線」と、県境を挟んで隣接する愛媛県鬼北町とを結ぶ「桺原－日吉線」が運行している。

「桺原－日吉線」は令和 3 年 9 月に運行を廃止する予定となっている。

図：桺原－杉の川－須崎線



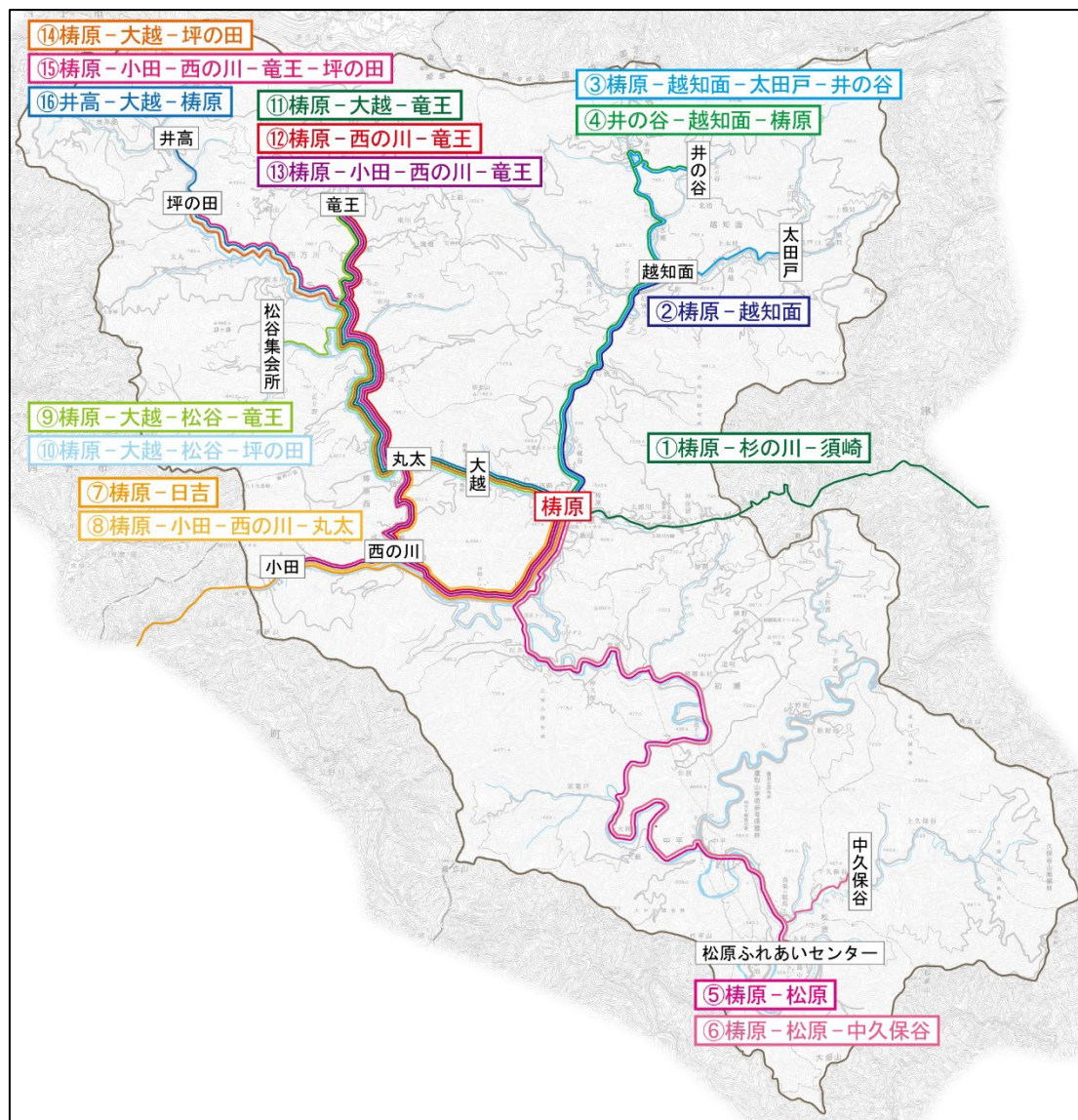
図：桺原－日吉線



(2) 町内を運行する路線

本町内を運行する路線は、次の図のとおりであり、多くの集落をつないで運行している。

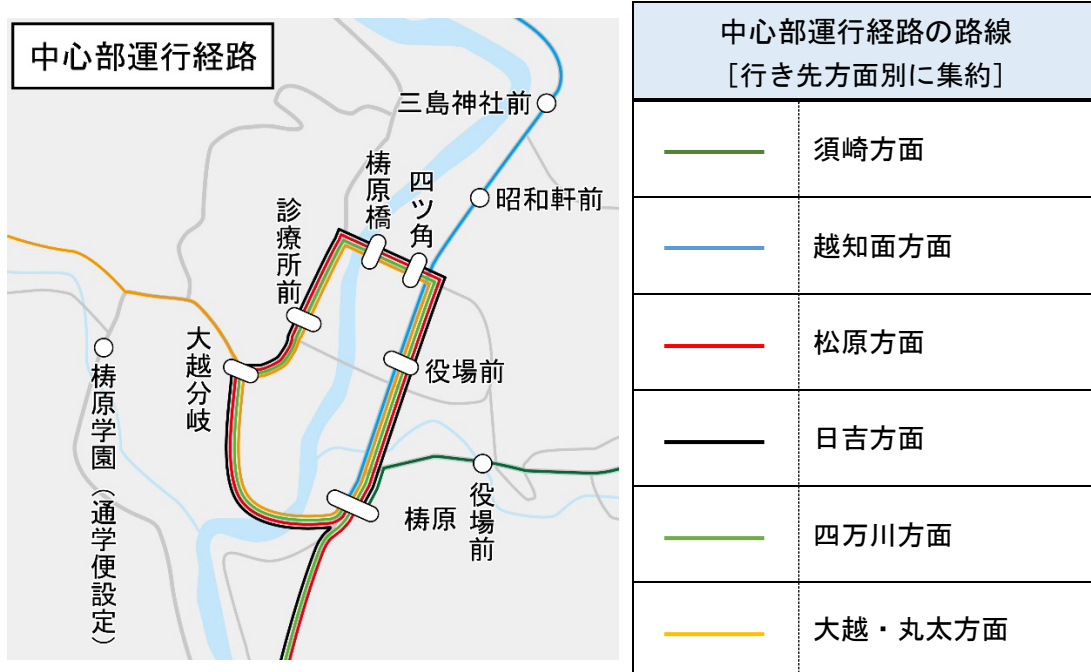
図：高知高陵交通の路線バス全路線



写真：竜王バス停での様子



図：本町中心部の運行経路



表：本町の運行路線と運行回数（令和2年2月現在）

路線名	運行回数		運行方面
	平日	日祝日	
① 梶原－杉の川－須崎線	7.0 回	7.0 回	須崎方面
② 梶原－越知面線	1.0 回	1.0 回	
③ 梶原－越知面－太田戸－井の谷線	2.0 回	1.0 回	越知面方面
④ 井の谷－越知面－梶原線	0.5 回	－ 回	
⑤ 梶原－松原線	1.0 回	1.0 回	松原方面
⑥ 梶原－松原－中久保谷線	1.0 回	－ 回	
⑦ 梶原－日吉線	2.0 回	2.0 回	日吉方面
⑧ 梶原－小田－西の川－丸太線	0.5 回	－ 回	四万川方面
⑨ 梶原－大越－松谷－竜王線	0.5 回	－ 回	
⑩ 梶原－大越－松谷－坪の田線	0.5 回	－ 回	
⑪ 梶原－大越－竜王線	1.0 回	－ 回	
⑫ 梶原－西の川－竜王線	1.0 回	1.0 回	
⑬ 梶原－小田－西の川－竜王線	1.0 回	－ 回	
⑭ 梶原－大越－坪の田線	1.0 回	1.0 回	
⑮ 梶原－小田－西の川－坪の田線	－ 回	1.0 回	
⑯ 井高－大越－梶原線	0.5 回	－ 回	
※ 梶原学園経由（通学設定便）は考慮せず			

(3) 運行ダイヤ

本町で運行する路線バスの運行ダイヤは、須崎市との間を運行している「梶原－杉の川－須崎線」が 7.0 回／日で最も多くなっている。その他の路線は運行回数が 2.0 回程度と少ない。

表：梶原バス停発の時刻表（高知高陵交通）

須崎方面	① 須崎本社営業所行き			
	6 : 23			
	6 : 47			
	8 : 20			
	11 : 00			
	14 : 00			
	15 : 50			
17 : 20				
越知面 方面	② 越知面行き		③ 井の谷行き (太田戸・越知面経由)	
	● 12 : 35 □ 15 : 30		○ 12 : 35 ※△ 16 : 11 ※▲ 16 : 21 ■ 17 : 10 △ 17 : 11 ▲ 17 : 31	
松原方面	⑤ 松原行き		⑥ 中久保谷行き (松原経由)	
	○ 12 : 35 ■ 17 : 10		△ 17 : 10 ▲ 17 : 30	
日吉方面	⑦ 日吉行き			
	9 : 40 15 : 30			
四万川 方面	⑧ 丸太行き (西の川経由)	⑨ 竜王行き (大越・松谷経由)	⑩ 坪の田行き (大越・松谷経由)	⑪ 竜王行き (大越経由)
	※△ 16 : 10 ※▲ 16 : 20	※△ 16 : 10 ※▲ 16 : 20	※△ 17 : 10 ※▲ 17 : 30	□ 6 : 51
	⑫ 竜王行き (西の川経由)	⑬ 竜王行き (西の川・小田経由)	⑭ 坪の田行き (大越経由)	⑮ 坪の田行き (西の川・小田経由)
	12 : 35	△ 17 : 10 ▲ 17 : 30	■ 6 : 33 ○ 9 : 40	■ 17 : 10

○ 日祝運休
● 日祝運行
▲ 4月1日～10月31日運行（但し、日祝・学校休運休）
△ 11月1日～3月31日運行（但し、日祝・学校休運休）
□ 日祝・学校休運休
■ 日祝・学校休運行
※ 学校行事等により時間変更あり。
1月1日は全便運休（梶原－杉の川－須崎線は除く）

2019 年 10 月 1 日改正

表：始発バス停から梶原行きの時刻表（高知高陵交通）

須崎方面	① 須崎本社営業所発		
	6 : 45 8 : 22 10 : 35 13 : 20 15 : 30 17 : 38 19 : 07		
越知面 方面	② 越知面発	③ 井の谷発 (太田戸・越知面経由)	④ 井の谷発 (越知面経由)
	● 12 : 48 □ 15 : 43	□ 7 : 25 ■ 7 : 25	○ 13 : 15
松原方面	⑤ 松原発		⑥ 中久保谷発 (松原経由)
	■ 7 : 10 ○ 14 : 00		□ 7 : 04
日吉方面	⑦ 日吉発		
	10 : 25 16 : 05		
四万川 方面	⑪ 竜王発 (大越経由)	⑫ 竜王発 (西の川経由)	⑬ 竜王発 (西の川・小田経由)
	△ 17 : 51 ▲ 18 : 12	13 : 10	□ 7 : 20
	⑭ 坪の田発 (大越経由)	⑮ 坪の田発 (西の川・小田経由)	⑯ 井高発 (大越経由)
	○ 10 : 20 ■ 18 : 07	■ 7 : 03	□ 7 : 25
○ 日祝運休 ● 日祝運行 ▲ 4月1日～10月31日運行（但し、日祝・学校休運休） △ 11月1日～3月31日運行（但し、日祝・学校休運休） □ 日祝・学校休運休 ■ 日祝・学校休運行 1月1日は全便運休（梶原－杉の川－須崎線は除く）			

2019年10月1日改正

(4) 運賃

梶原バス停から各方面への運賃（大人）は、須崎までが 1,820 円で最も高くなっている。町内の主な行き先別に見ると、越知面までが 310 円、松原までが 800 円、四万川までが 430 円と、乗車距離に応じて運賃が大きく異なっている。

表：梶原バス停から主な行き先への運賃

須崎行き	大田戸・井の谷行き	松原・中久保谷行き
須崎 : 1,820 円	井の谷 : 500 円	中久保谷 : 850 円
葉山役場前 : 1,350 円	太田戸 : 420 円	松原ふれあい
杉の川 : 1,200 円	越知面 : 310 円	センター : 800 円
布施ヶ坂公園 : 960 円	大蔵谷 : 120 円	日野地 : 700 円
新田 : 610 円	梶原学園 : 120 円	佐渡 : 450 円
太郎川公園前 : 200 円		川口 : 190 円
日吉行き	竜王・井高行き	
日吉駅前 : 680 円	井高 : 660 円	
小田 : 370 円	坪の田 : 600 円	
仲間 : 230 円	竜王 : 530 円	
	松谷集会所 : 480 円	
	四万川 : 430 円	
	広野第二 : 250 円	
	大越 : 170 円	

(5) 情報発信

インターネットを活用した運行情報はホームページから発信されており、運行時刻表はPDFではあるが、最新のものが常に掲載されている。ただし、路線図は掲載されていない。

また、高知高陵交通専用のバスロケーションシステム（以降：高知高陵バスロケ）も運用されており、パソコンやスマートフォンなどからの閲覧のほか、利用者の多い施設などにモニターが設置されて運行情報がリアルタイムに把握できるようになっている。本町では梶原病院待ち合いロビーに設置されている。

図：高知高陵交通のホームページ



(6) 停留所での掲示情報

停留所等における掲示情報として、停留所ごとの時刻表は掲示されているが、路線図は掲示されていない。

地図ベースではないが運行経路を表現した路線図は、梶原営業所（梶原バス停）内にのみ掲示されている。

写真：停留所の様子（左：梶原営業所、右：診療所前）



(7) 利用状況

路線別に利用者数を見てみると、2018年（平成30年）から2019年（令和元年）にかけて利用者数が減少しているが、2019年から2020年（令和2年）ではさらに減少幅が大きくなっている。コロナ禍の影響が大きいと考えられる。

表：町内を運行する路線バスの利用状況推移

路線名	種別	2018年	2019年	2020年
		利用者数(人)	利用者数(人)	利用者数(人)
〔越知面方面〕 梶原～越知面線	ICカード	147	123	189
	現金	891	748	390
	計	1,038	871	579
〔四万川方面〕 梶原～竜王～坪の田線	ICカード	2,376	2,189	2,488
	現金	1,216	1,561	1,354
	計	3,592	3,750	3,842
〔松原方面〕 梶原～松原線	ICカード	1,043	930	799
	現金	934	721	409
	計	1,977	1,651	1,208
〔日吉方面〕 梶原～日吉線	ICカード	127	191	165
	現金	532	498	315
	計	659	689	480
年間計	ICカード	3,693	3,433	3,641
	現金	3,573	3,528	2,468
	計	7,266	6,961	6,109

出典：高知高陵交通

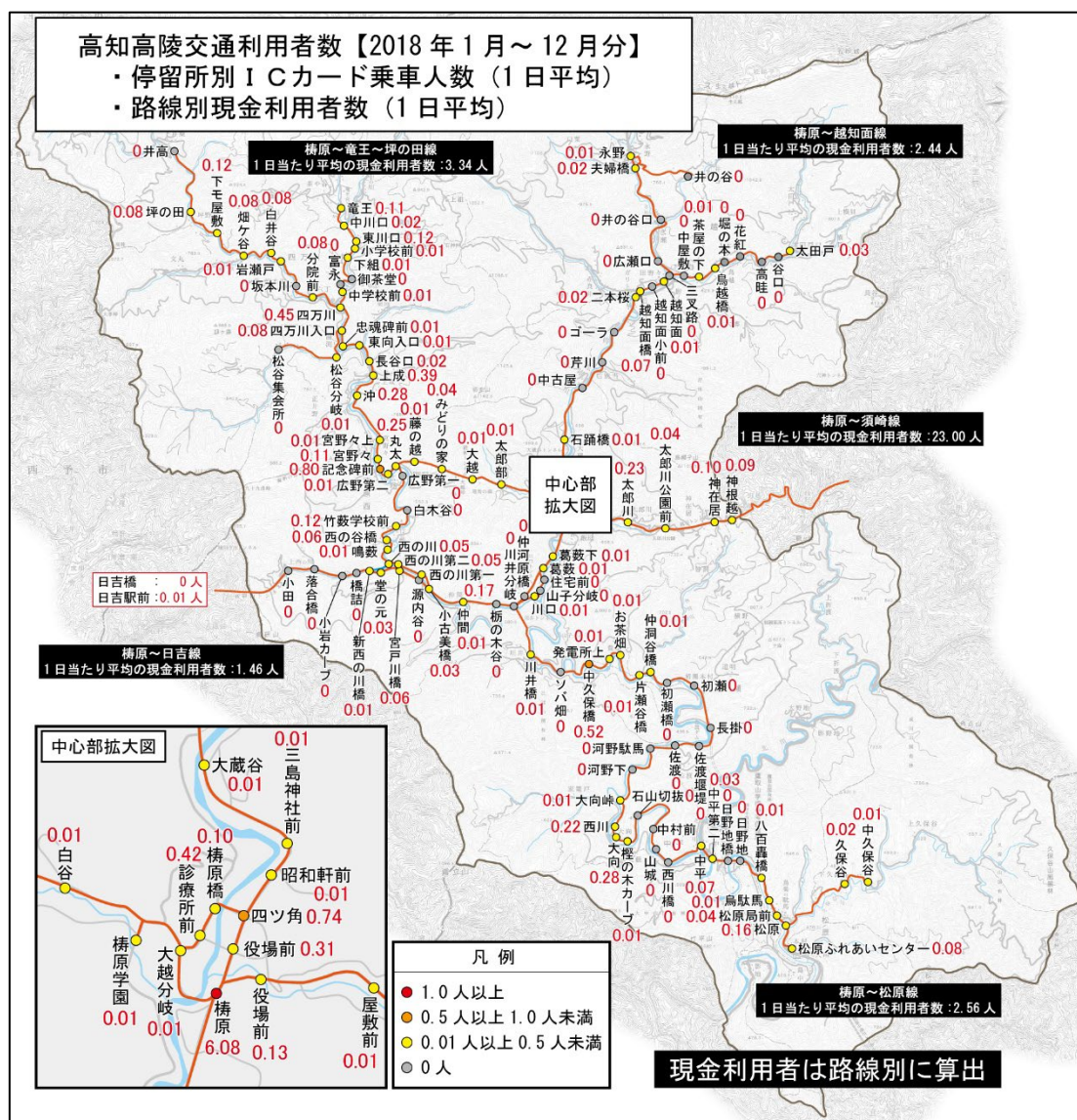
(8) 1日平均停留所別乗降者数

停留所別の利用者数を、乗車と降車の別に1月から12月の1日平均で算出した。ただし、停留所別データはICカードですかの利用者のみとなる。

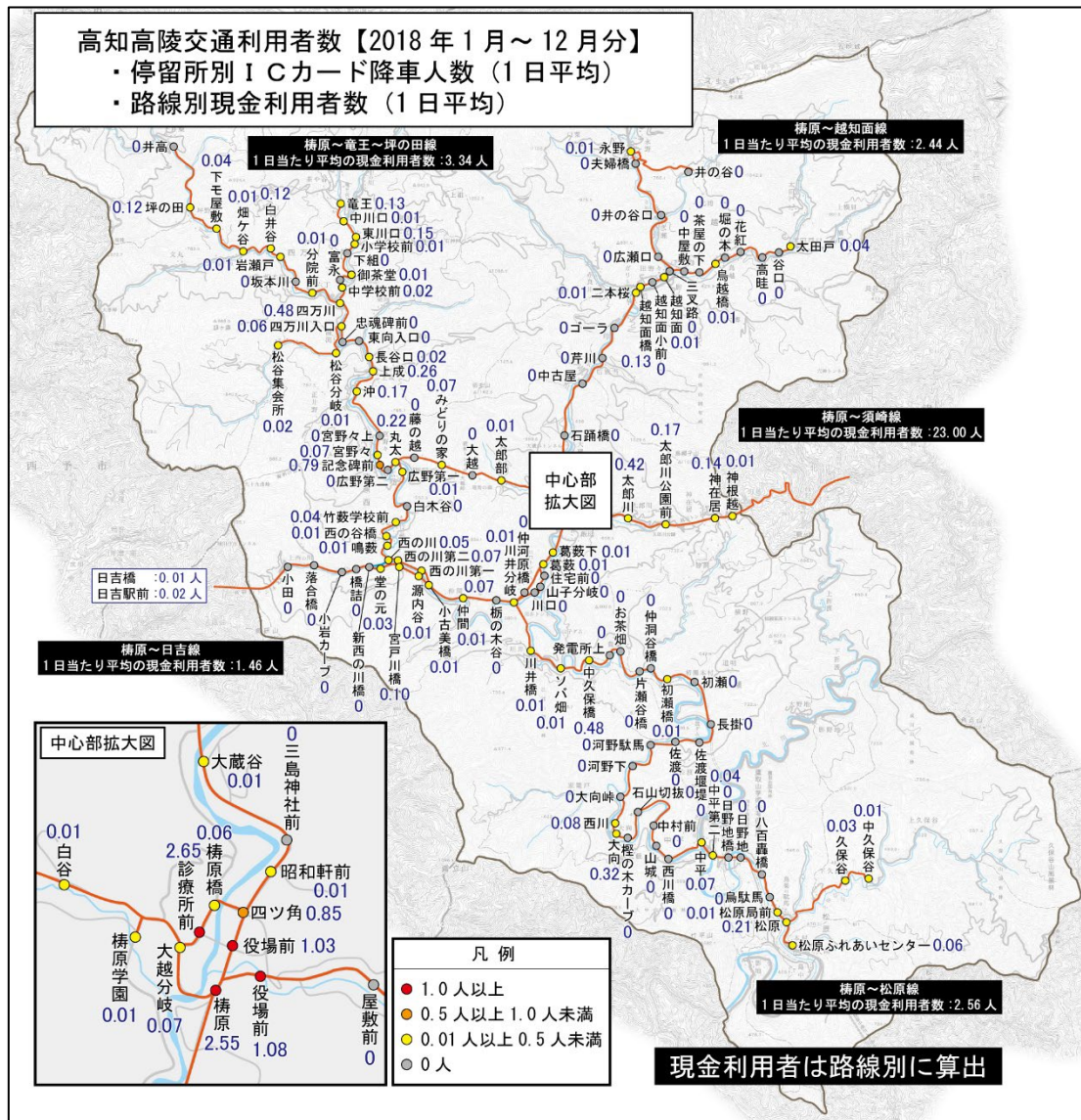
現金による利用者数は路線単位で整理している。

① 2018年の停留所別1日平均乗降者数

[乗車数]

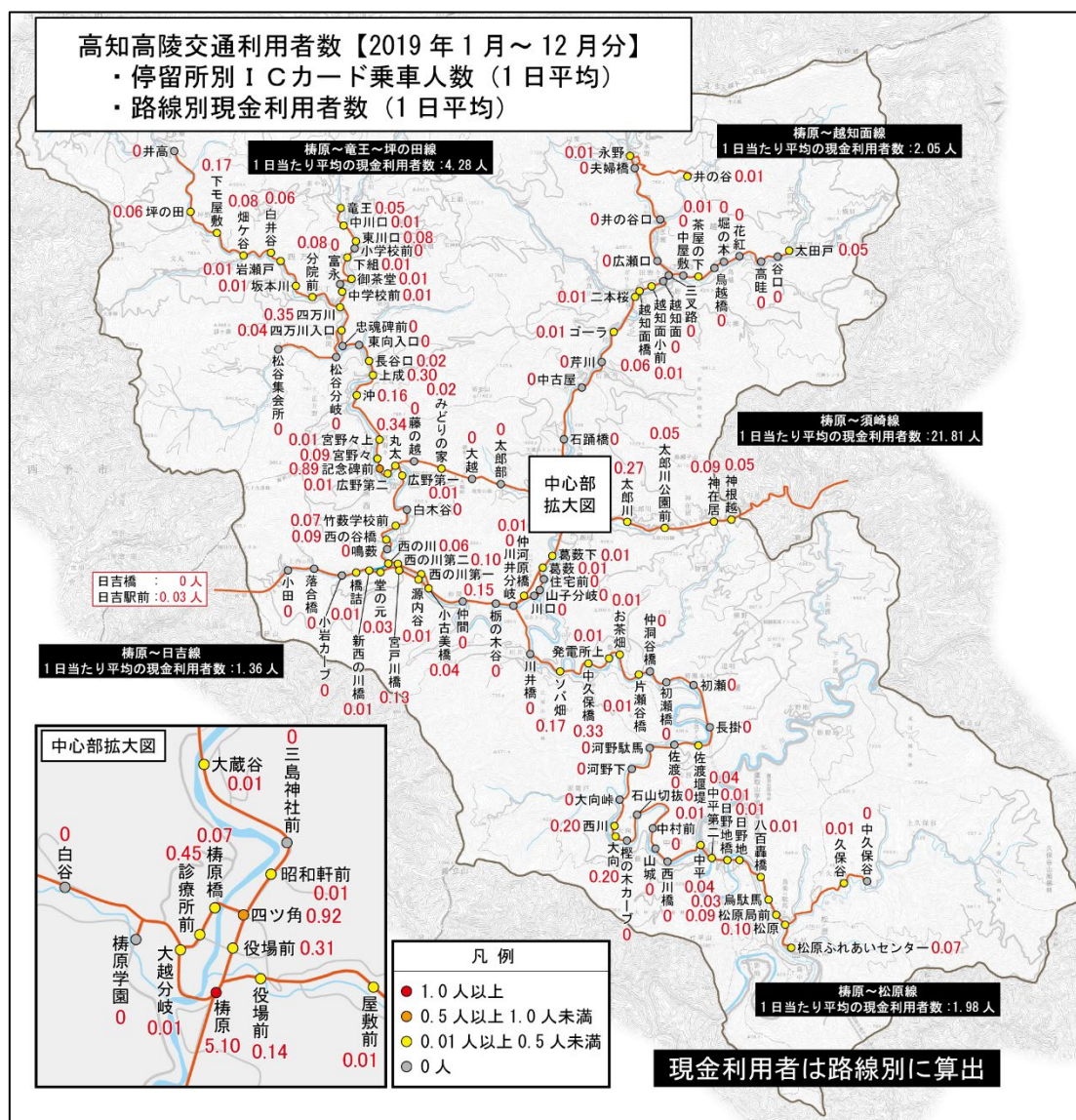


[降車数]

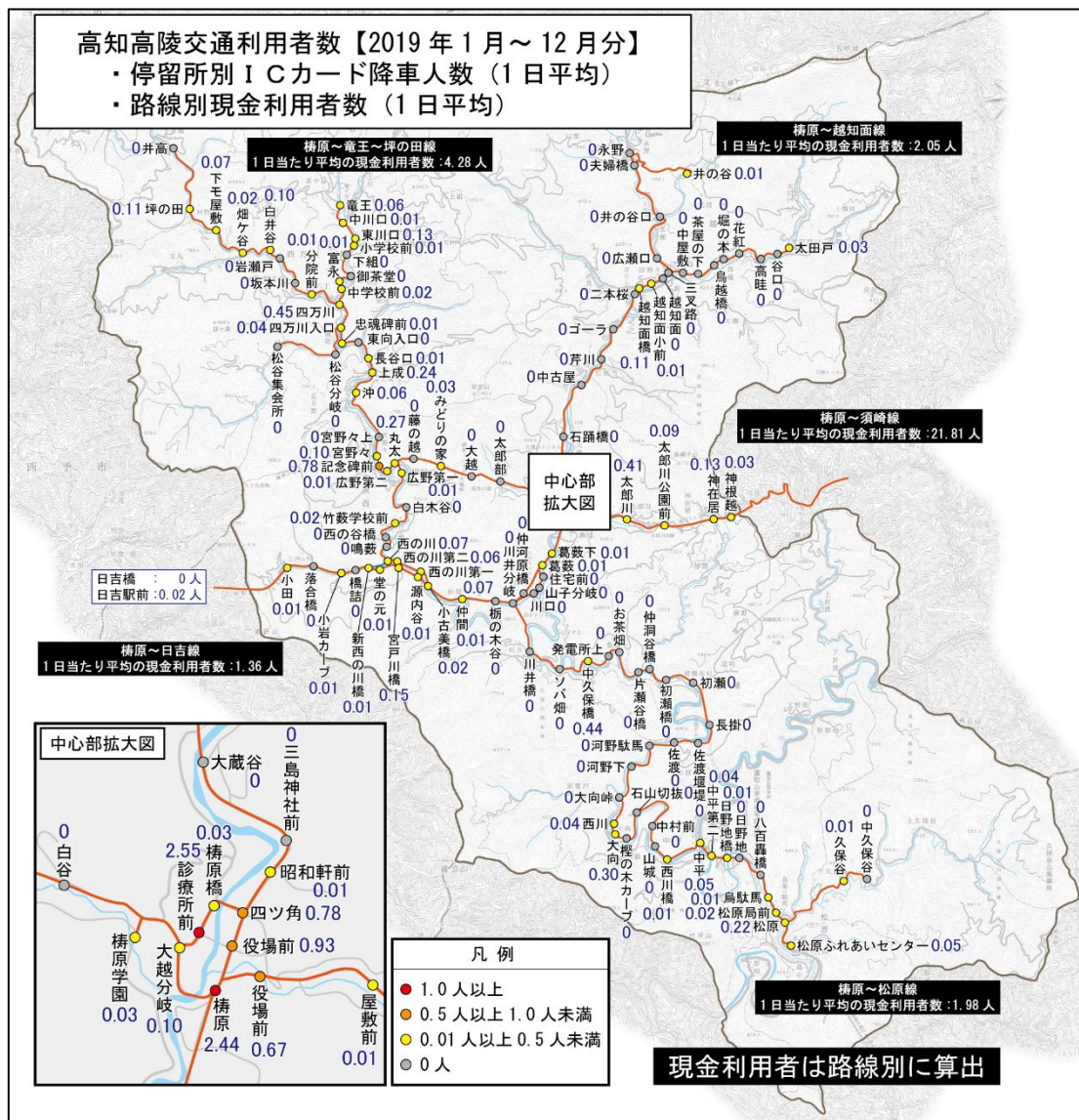


② 2019 年の停留所別 1 日平均乗降者数

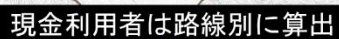
[乗車数]



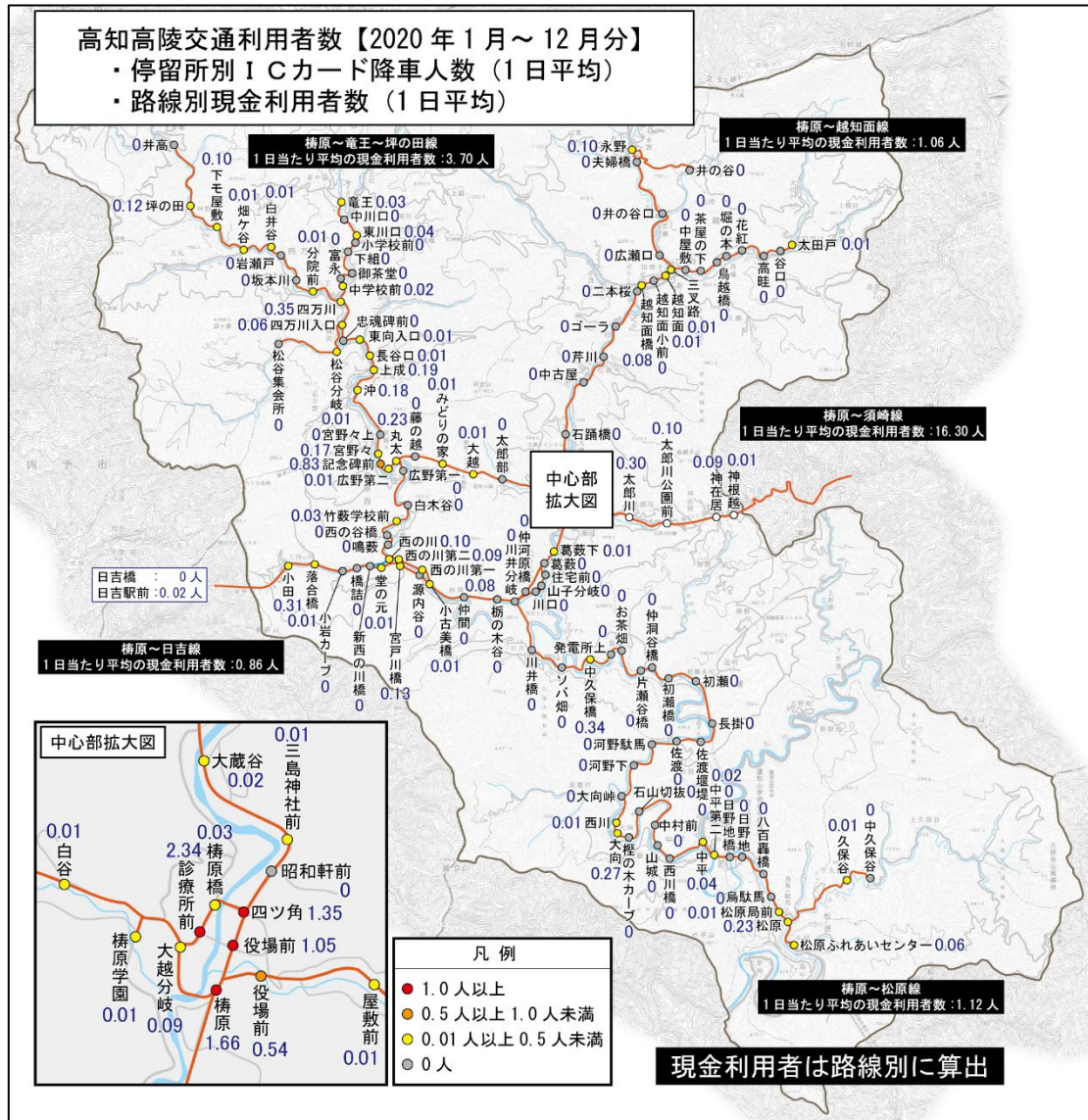
[降車数]



[乗車数]



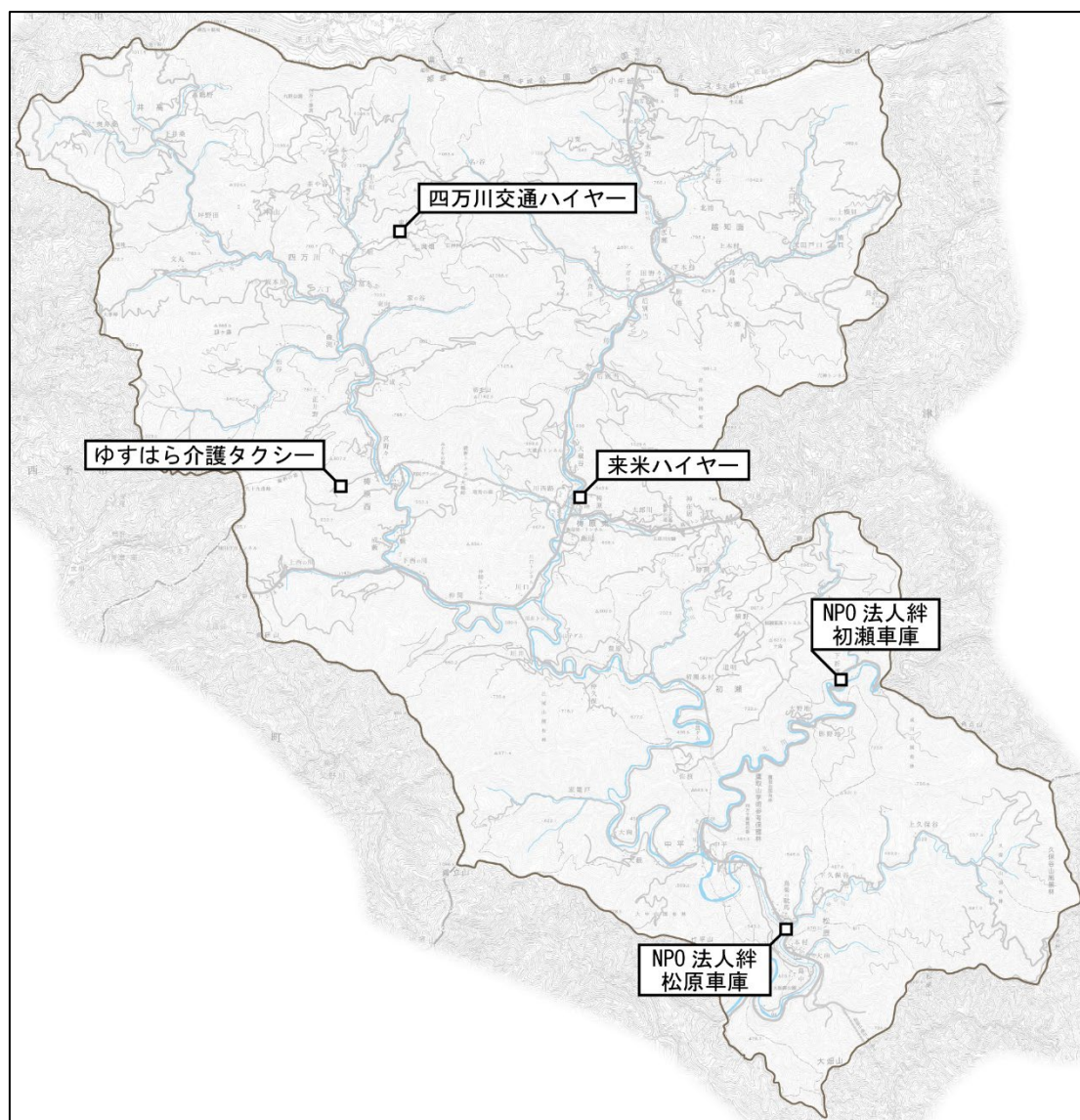
[降車数]



2) その他の交通事業

本町における路線バス以外の交通事業として、自家用有償運送によるデマンド交通とタクシー、そして介護タクシーがそれぞれ事業を行っている。

図：本町内の交通事業者（路線バス以外）



NPO法人絆（デマンド交通）松原車庫

写真：四万川交通ハイヤーによる送迎

